

レジストリ・レジストラ 関連状況報告



第48回ICANN報告会：2017年4月20日

株式会社インターリンク

Jacob Williams

GNSOが関わっている話題

フェーズ	タイトル
Working Group (作業部会)	<ul style="list-style-type: none">● GNSO Standing Selection Committee● CCWG – New gTLD Auction Proceeds● CCWG – Enhancing ICANN Accountability● PDP: Review of All Rights Protection Mechanisms in All gTLDs● PDP: New gTLD Subsequent Procedures● PDP: Next-Generation gTLD Registration Directory Service (RDS) to Replace WHOIS.● PDP: Curative Rights Protections for IGO/INGOs● CCWG: Use of Country and Territory Names as TLDs● CCWG: Internet Governance

CCWG: Cross Community Working Group
GAC: Governmental Advisory Committee
GNSO: Generic Names Supporting Organization
PDP: Policy Development Process

GNSOが関わっている話題

フェーズ	タイトル
Policy Implementation (ポリシー導入)	<ul style="list-style-type: none">● GNSO Review Working Group● Rights and Obligations Under Revised ICANN Bylaws Drafting Team● CCGW: Framework of principles for Future CWGs● GAC-GNSO Consultation Group on Early Engagement● PDP: Privacy and Proxy Services Accreditation Issues● PDP: Translation and Transliteration of gTLD Registration Data● PDP: Inter-Registrar Transfer Policy Part C (IRTP-C)● PDP: Thick WHOIS● PDP: Protection of International Organization Names in All gTLDs

GNSOが関わっている話題

フェーズ	タイトル
Other (その他)	<ul style="list-style-type: none">● WHOIS Cross-Field Validation● New Data Escrow Provider● Consumer Choice Competition and Trust Review Team● PDP: Protection of International Organization Names in All gTLDs

ICANN 58 でのレジストリ/レジストラ 主要な話題

レジストラ関連	<ul style="list-style-type: none">● PDP: Inter-Registrar Transfer Policy Part C (IRTP-C)● PDP: Privacy and Proxy Services Accreditation Issues● PDP: Thick WHOIS● WHOIS Cross-Field Validation
レジストリ関連	<ul style="list-style-type: none">● Global Amendment to the New gTLD Registry Agreement

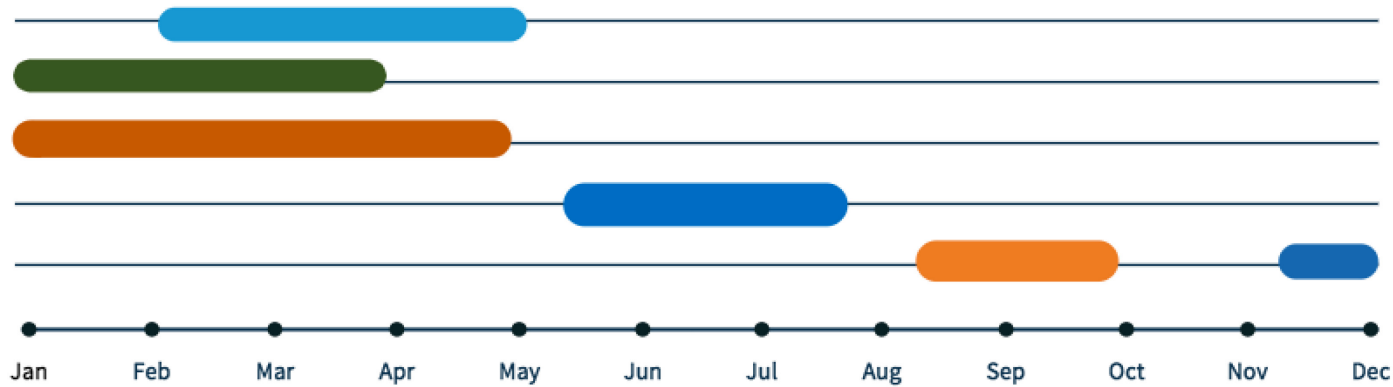
Inter-Registrar Transfer Policy Part C (IRTP-C)

- レジストラ間移管ポリシーは、ドメイン所有者がレジストラ間でのドメイン移管を簡単に行う方法を提供するために、2004年に採用されました。
- IRTP-Cでは名義変更をすることでドメインが60日間ロックされます。
- また、名義変更が行われる際、レジストラは旧登録者へ確認メールや完了通知を送らなければなりません。しかしDesignated Agentとしてレジストラが登録者の代わりに名義変更を承認することは可能です。
- 新ポリシーでは、ドメインにWHOIS Privacyをつけたり外したりすると名義変更扱いとなるというICANNの意見でしたが、ポリシーでは明確になっていないため、ICANNスタッフがポリシーの一部を見直しています。

Privacy Proxy Service Accreditation Program (PPSAI)

- Privacy and Proxy Service (P/Pサービス) を提供するにあたって、ICANNの認定を受けなければ提供できないようにする取り組みが進められています。
- 2013年のRAAには暫定仕様があり、2018年まで有効となっています。(元々2017年1月まででしたが、レジストラがICANNと合意を取って1年延長しました。)
- 予定では2017年9月までにP/P Service公認アグリーメントドラフトを完成して公開し、その後パブリックコメント期間に入ります。

Privacy Proxy Service Accreditation Program (PPSAI)



● ICANN
Drafting:
PPAA

● LEA Proposal
Drafting

● IRT Policy
Review

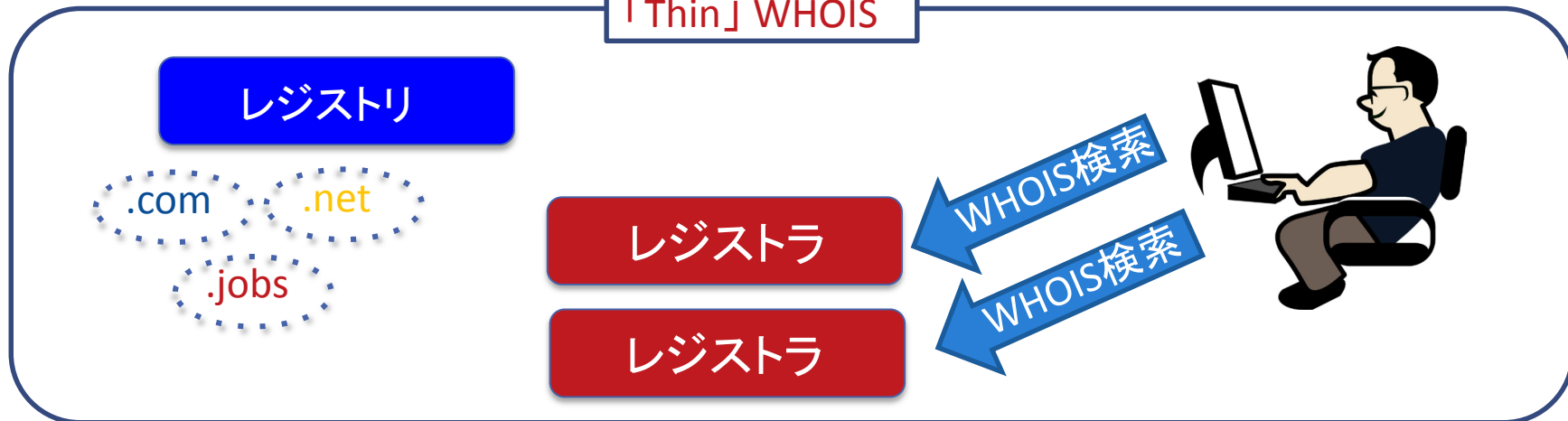
● IRT Review:
PPAA

● Public
Comment
Period

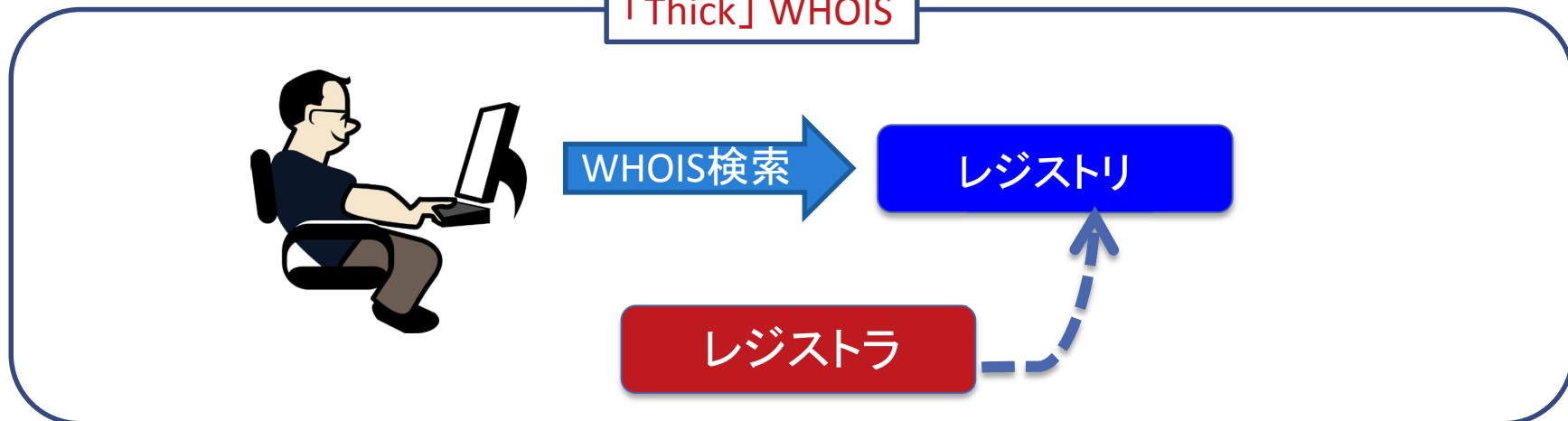
● Final Program Announced;
Operational and
Compliance Readiness
(will extend into 2018)

Thick WHOIS PDP

「Thin」WHOIS



「Thick」WHOIS



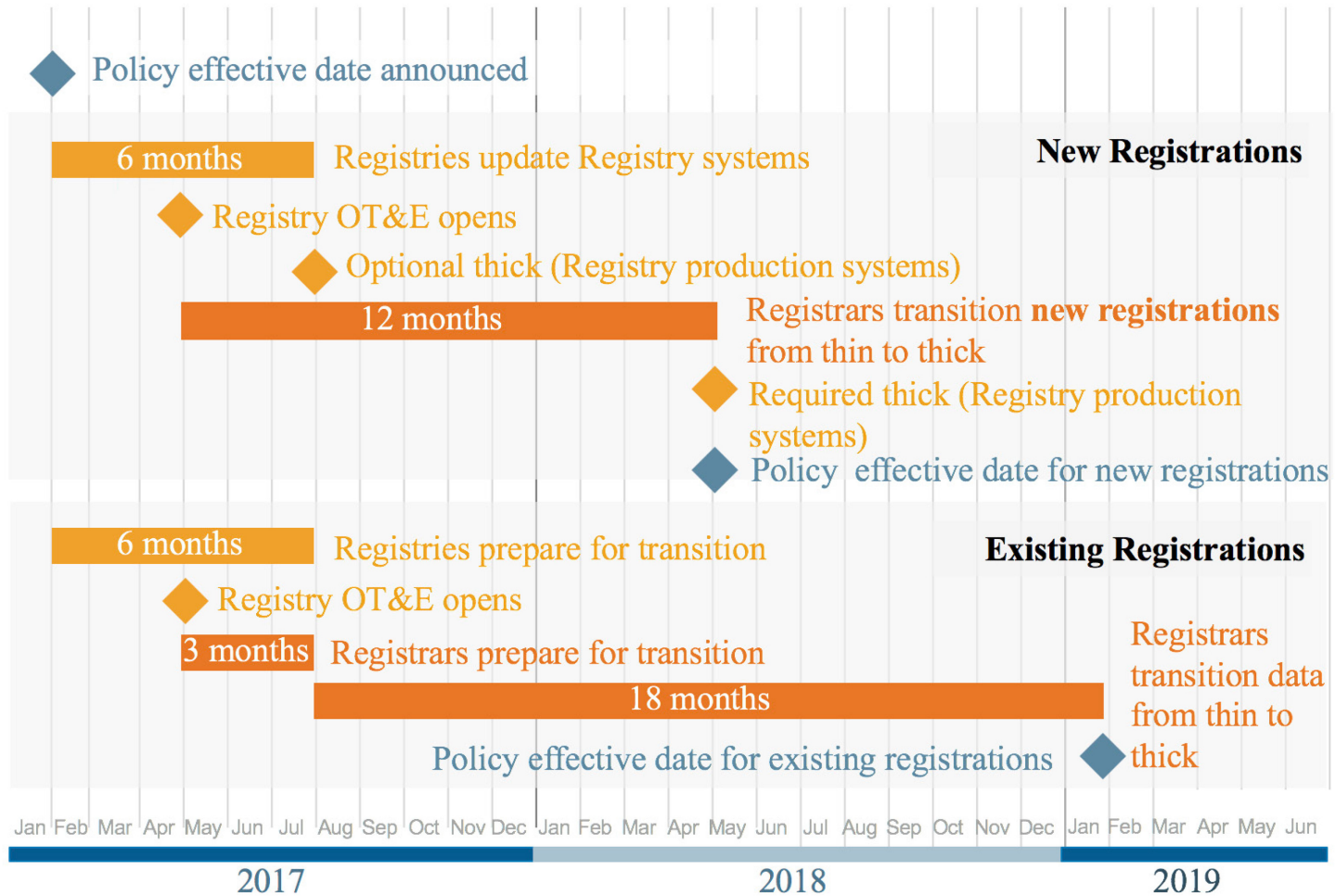
Thick WHOIS PDP

- 2014年2月に、全てのレジストリが「Thick」WHOISを採用するということが決定されました。
- 現在Verisignが管理している.com、.net、.jobsは「Thin」WHOISを運用しています。
- レジストリ(Verisign)がEPPおよびBulk Transfer Toolを導入し、レジストラはそれを利用し、既に登録済みドメインコンタクト情報を作成する必要があります。

Thick WHOIS PDP

- 2017年5月1日～2017年8月1日
レジストラドキュメントを確認して既存ドメインデータ移管をテスト環境でテストします。
- 2017年8月1日～2019年2月1日
既存のドメインデータ移管を完了します。
- 2017年8月1日～2018年5月1日:
レジストラは新しいレジストリシステムで新規登録を行うことが可能です。
- 2018年5月1日～:
レジストラは新しいレジストリシステムで新規登録を行う必要があります。

Thick WHOIS PDP: Timeline



WHOIS Cross-Field Validation

- クロスフィールドバリデーションとは、例えば郵便番号に対して住所が合っているか、その住所に入力された町名が存在するか、などを検証することです。
- 2013のRAAには、レジストラは、ドメイン登録者住所が該当する国や地域に間違いなく存在し、その情報入力方法も指定された通りであることを“技術的にも商業的にも有効な方法があれば”確認しなければならないと定めています。(技術的にも商業的にも有効な場合)
- ICANNで 2017年4月から8月の間に、レジストラが登録者情報 クロスフィールドチェックを行うための技術的にも商業的にも有効な方法を見つけ、その方法導入に賛成するかどうかをレジストラに投票してもらう予定です。

Global Amendment to Registry Agreement

- レジストリアグリーメントには、“(アグリーメントの内容に関する)交渉は、12ヶ月に1度以下の割合で、ICANNまたはレジストリのいずれかによって開始され、最初の交渉開始の通知は2014年7月1日より前に提出することはできない”と書かれています。
- 交渉が可能になって、すぐにレジストリとICANNの間で話し合いが始まり、ようやくレジストリアグリーメントの最初の修正案がレジストリにより承認されました。
- 今後ICANN理事会による承認を得られた場合、ICANNから正式な通知がレジストリオペレータに対して送られます。通知から60日後に修正案が適用されることになり、予定通りであれば、2017年8月に修正案が適用されます。

Global Amendment to Registry Agreement

項目	修正内容
ゾーンファイルアクセス Zone File Access	●ゾーンファイルアクセスの承認手続きに関して明確になった。(CZDA利用規約と同様の内容を記載)
データのエスクロー Data Escrow	●データエスクロー開始日時が明確になった。 (TLDの委任から14日以内)
リザーブリスト Reserved Names	● NIC.TLDは必ず運用しなければならないことが明確になった。 ● レジストリがマーケティング活動で使える100件のSLDはレジストリのインターナルレジストラ「ID 9998」で登録しなければならない。 ● 「icann-sla-monitoring.TLD」はICANNが運用しているテストレジストラに提供しなければならない。(新要件)

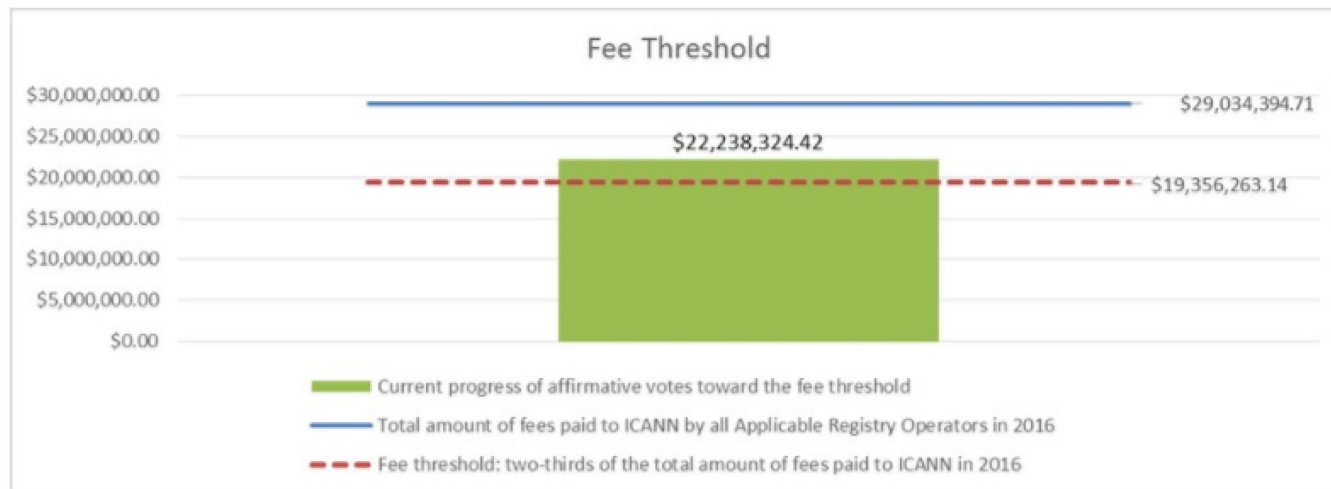
CZDA: Centralized Zone Data Access
SLD: Second Level Domain

Global Amendment to Registry Agreement

項目	修正内容
Specification 7	<ul style="list-style-type: none">● レジストリは最低でも1社のレジストラとRRAを締結する必要があると明確にし、その時期も明確になった。- QLPを提供する場合、サンライズ終了30日前。- 企業TLD(Spec13あり)の場合、TMCHクレーム期間開始前。
Specification 13	<ul style="list-style-type: none">● ブランドTLDレジストリオペレータによる承認がなければ、spec13の内容を修正することはできない。
アフィリエイト譲渡 Affiliated Assignee	<ul style="list-style-type: none">● レジストリオペレータ 業務移管に関して、必要な手続きが明確になった。
年間費用減額 Fee Reduction Waiver	<ul style="list-style-type: none">● レジストリオペレータが支払うICANN年間費用減額を可能とするような内容が追加された。(具体的なことはまだ決定していません)

Global Amendment to Registry Agreement

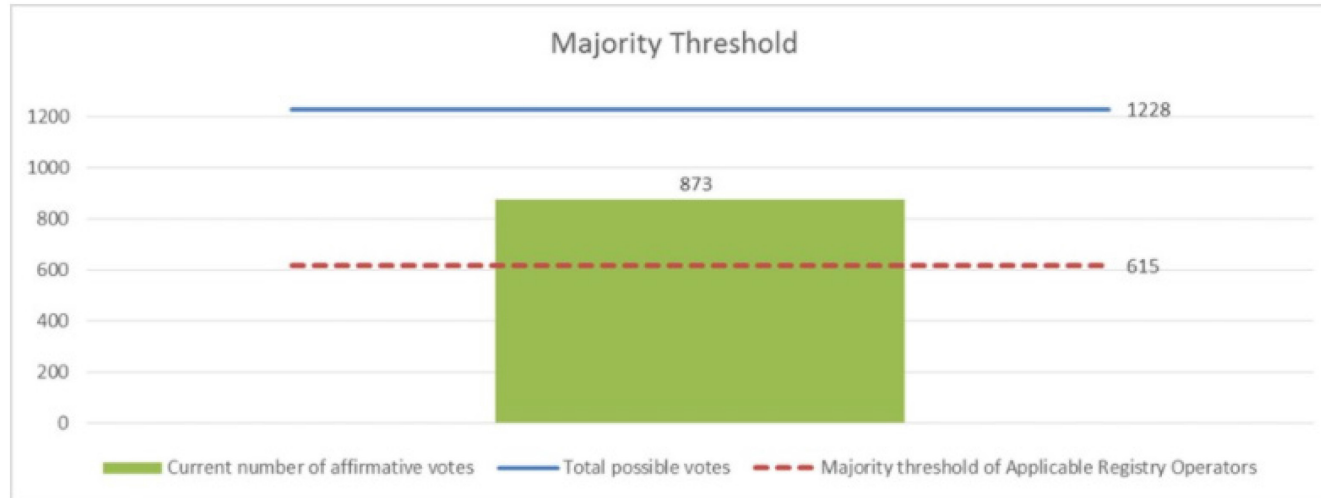
1. **Fee Threshold Chart:** represents progress towards "the affirmative approval of the Applicable Registry Operators whose payments to ICANN accounted for two-thirds of the total amount of fees paid, pursuant to the Registry Agreement, the immediately previous calendar year."



As of 10 April 2017

Global Amendment to Registry Agreement

2. **Majority Threshold Chart:** represents progress towards "the affirmative approval of a majority of the Applicable Registry Operators at the time such approval is obtained."



As of 10 April 2017

参考

- GNSOプロジェクトリストと関連リンク:
<https://gnso.icann.org/en/meetings/projects-list-17apr17-en.pdf>
- Global Amendment to the New gTLD Registry Agreement
<https://www.icann.org/resources/pages/global-amendment-base-new-gtld-registry-agreement-2017-01-23-en#background>
- Cross-Filed Validation:
<https://community.icann.org/display/AFAV/Documents>

お問い合わせ:
gTLD@interlink.ad.jp